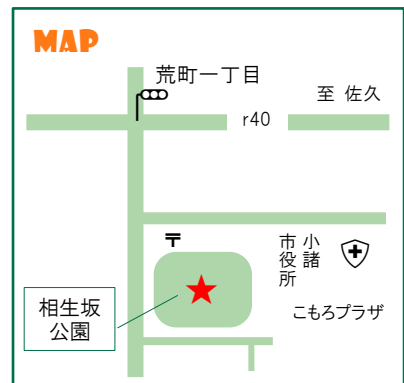


本の小途

Vol.12
2022.春号

特集

本と歩く小諸の景色



＝表紙写真＝2020年2月に相生坂公園で開催されたアンブレラスカイこもろの様子。ガーデニングとあわせてライトアップなども楽しめる。

三寒四温を繰り返して、暖かい風が待ちに待った春を運んで来た。カーテンを開け、窓辺から優しい日の光が差し込んでくると、気持ちもなんだかふんわりして、休日ならば、ふらっと散歩に出掛けたい。そとに出てみれば、土手の路の臺（ふきのとう）はもうすっかり膨らんで、枯れ葉の下からは、ひっそりとした新芽が緑をのぞかせ、梅のつぼみもほのかに色づいて、枯れ色だった自然のキャンバスを彩り始めている。

野の草花は、私たち人間よりも季節の訪れに敏感なのだと思心しながら、ゆつたりと愛で歩く。今年も色鮮やかな季節がやって来る。小諸から四方に望む山並みもまた素晴らしい。八ヶ岳の向こうに見える美しい富士の頂も、四季折々に目を楽しませてくれる。時には日常を忘れ、四季の風情を堪能すれば明日への元気がまた湧いてくる。

～本途人舎よりお知らせ～



語り継ぐ小諸の民話 原画展&DVD鑑賞会 開催

【原画展】

2022年5月14日（土）～6月1日（水）
会場：市立小諸図書館 館内
令和3年度に制作した民話紙芝居3作品の原画を展示します。印刷・映像では表現しきれない色合いを原画で味わってください。

【DVD鑑賞会】

5月14日（土）14:00～15:30
会場：こもろ市民交流センター ステラホール
大画面で民話DVDを楽しむ他にも、紙芝居など様々な形で小諸の民話が楽しめるひとときです。 **入場無料**



香りをヒントに本と会おう！Part3

好きな香りで性格診断

あなたに似ている物語の主人公はだれ？！

2022年6月19日（日）
13:30～15:30（受付開始13:15）

会場 こもろ市民交流センター 第3会議室
定員 16人（先着順）
講師 清水しおりさん
受講料 ひとり1,000円
申込期間 5月16日から
申込先 本途人舎メールまたは
右のQRコードまで



5/16から申込可能

賛助会員 募集のお願い

わたしたち本途人舎は**本と人、過去と未来**をつなぐ活動をしています。わたしたちの活動へのご支援を募集しています。

年会費（個人）一口3,000円（団体）一口10,000円

●銀行振込

振込先：特定非営利活動法人 本途人舎（名義名：ホントヒトシャ）
八十二銀行 小諸支店 普通 口座番号 1128420
※新規で振込にて申し込みをされる方は、お手数ですが本誌奥付のメールアドレスまでご一報下さい。

●本途人舎メンバーに直接お渡ししていただくことも可能です。

ページの構成上

紹介できなかった1冊のコーナー

特集「本と歩く小諸の景色」より

手書き地図
なのがポイント

『こもろ散歩』

市立小諸図書館 編（市立小諸図書館）



小諸市内を6つの小学校区ごとに分け、各地域の歴史や建物、人物などが紹介されています。場所も表示されているので、地域散歩のお供にどうぞ。市立小諸図書館で閲覧・コピーができます。

今月の元標（第2合目）ふたたび



小諸なるくすし
見たる浅間の姿のさびしさ（若山牧水）

『落葉松の林を出でて』P.192～193
（藤原改造 他編著/銀河書房/1984.2）

若山牧水は、明治43年、静養のため信州を訪れました。上記の歌は、牧水がひと月ほど滞在していた田村病院からの情景を詠んだ歌と思われま。

「元標」とは浅間山に登る人のための道しるべのことをいい、小諸八幡神社を起点に全10合で出来ています。

編集後記

出掛けるのが楽しみな季節になりました。会報でご紹介した場所以外にも、市内には自然の景色が美しい場所がたくさんあると思います。お気に入りの場所に出かけて元気をチャージしましょう。（Y&K）

紙面版 ほんのひととき



『猫弁 天才百瀬と
やっかいな依頼人たち』
大山淳子 著（講談社）

選んだ人（ペンネーム）
しゃけたろう さん

百瀬太郎は婚活中の弁護士。結婚相談所に通うも30連敗という、どこかさえない青年である。そんな彼を癒すのは猫だった。ある日、百瀬のもとに1つの依頼が舞い込む。それは霊柩車が盗まれたというもので……。事件と事件とが繋がって導き出された結果に心が温まるハートフルミステリー。猫好きさんにおすすめしたい「猫弁」シリーズ1作目。

「ほんのひととき」は不定期開催になりました

今後の日程は本途人舎ホームページなどをご覧ください。

みはらし交流館 +
『山並み大図鑑』
信州山座同定 navi』

(佐々木信一 写真、菊地俊朗 文／
信濃毎日新聞社出版部編)



長野県各地の絶景ポイントから見た山の名前が分かる本。景色を楽しみながら山の名前も覚えましょう。

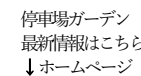


みはらし交流館からの眺め <写真：2020年1月朝撮影／金子嘉津希さん提供> 「みはらし交流館」(小諸市滋野甲 4162-189) 「小諸高原美術館」(小諸市菱平 2805-1)

浅間山麓を走る浅間サンライン沿いには、見晴しの良い場所がいくつもあります。中でもお薦めは、**みはらし交流館**と**小諸高原美術館**。みはらし交流館前の広場は山並みのパノラマが美しく、冬の朝、運が良ければ雲海も見ることが出来ます。近くには、ワイナリーやオープンガーデンもあります。一方、美術館周辺には、気軽に散策できる富士見城跡などがあり、歴史探索としても楽しめます。また、令和5年にはワイナリーもオープンするそうです。

停車場ガーデン +
『小さな生きものたちの不思議なくらし』

(甲斐信枝 著／福音館書店)



停車場ガーデン
最新情報はこちら
↓ホームページ



植物や小さな生き物たちを観察し続けて40年。自然を愛する著者のエッセイと共に美しい絵をお楽しみ下さい。



春の停車場ガーデン <写真：2013年5月撮影／名小路雄さん (NPO法人こもろの杜) 提供> 「停車場ガーデン」(小諸市相生町 1-1-9) 「相生坂公園」(小諸市相生町 3-3-3)

街中で花を楽しむなら**停車場ガーデン**と**相生坂公園**は外せません。停車場ガーデン主任ガーデナーの名小路さんによるとゴールデンウィークから6月上旬にかけては花の盛りとのこと。原種のチューリップや花木など色とりどりの植物に出会えます。また、相生坂公園はカラーリーフが見どころのひとつ。最も色が濃くなる若葉の季節をお楽しみください。

みまき大池 +
『万葉の鳥』

(山下景子 著／誠文堂新光社)



鳥の声を聴きながら、昔の人が詠んだ句を味わうのもまた趣があります。

浅間山とみまき大池とほとりのジオヒルズワイナリー <写真：2022年3月撮影> 「みまき大池」「ジオヒルズワイナリー」(小諸市山浦富士見平 5656)

広い空に鳥の声、風に揺れる水面、遠くに見える山々……小諸にはそんな美しい場所があります。**みまき大池**は、御牧ヶ原に数多くある溜め池の中で、ひときわ規模が大きい溜め池です。小諸の農業を支え、また訪れる人を穏やかな気持ちにさせてくれる場所です。ほとりに自家製ワインやベトナム料理が楽しめる**ジオヒルズワイナリー**もあります。

ほんひと

本と人を紹介するコーナー

自然体験活動指導者の研修施設として、研修の受け入れや講座等を開催している安藤百福記念自然体験活動指導者養成センターでは、施設がある川辺地区にロングトレイルのコースを整備し紹介しています。同センター職員の小島真一さんにロングトレイルの魅力について、お聞きしてきました。

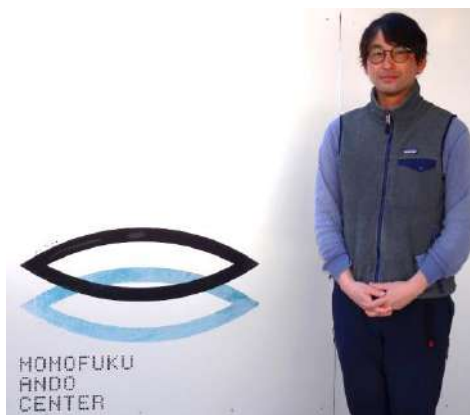
Q ロングトレイルとはどんなものですか？
小島さん(以下K) 登山が山頂を目指すのが目的としたら、ロングトレイルは歩くことを楽しむのが目的。林道やハイキング道、車道などの道と道を繋ぎ、地域の自然や歴史、文化を楽しみながら旅をするというイメージです。センター周辺には、全長四キロから十数キロまで、五つのコースがあります。実はこのコース、最初はセンターでの研修フィールドとして使っていましたが、一般の方も歩けるよう整備することにしました。マップを作成するとともに、道標を設置し、歩行者が安全に歩ける事を

確認して「開通」しました。歩いた方からは「アップダウンがあつて楽しかった(布引観音コース)」「半日かけて楽しめた(千曲川コース)」などの声をいただいています。今後、軽井沢、高峰、北八ヶ岳を目指すコースをそれぞれ整備する計画です。Q トレイルに挑戦してみたいという人にアドバイスをお願いします。K 整備したコースは元々既存の舗装道路なので、スニーカーでも歩けます。センターホームページのパンoramトレイルのページに、各コースの案内や持ち物、注意点が書いてあるので参考にして下さい。(トレイルマップはセンターで販売中※) 暖かくなる春の季節はトレイル歩きにぴったりだと思えます。地元に住んでいても知らない地域の魅力を再発見。『デイスカパー小諸』が出来るといいですね。

Q お仕事柄、市内の自然が豊かな場所等をご存じかと思いますが、オススメの場所がありますか？ また、おすすめの本も教えてください。
K 最近、知人に誘われて山城を歩く勉強会に参加したら、思いのほか面白く、山城にはまっています。先日は大久保にある「堀之内城跡」に行ってきました。小諸市内には四十近い山城があつたそうです。秋にはセンター主催で、それらのいくつかを巡るトレイルを計画中です。そんなわけで、ご紹介する本も城に関係しています。『城の攻め方、つくり方』(かみゆ歴史編集部編著／宝島社)。山城の基本はもちろん、色々な城のしくみを楽しめる内容です。
K ありがとうございます。ぜひ一度トレイルコースに挑戦してみたいと思います。山城トレイルも楽しみですね。



安藤百福記念自然体験活動指導者養成センター
こじま しんいち
小島 真一さん



安藤百福記念自然体験活動指導者養成センター

こじま しんいち
小島 真一さん

※ 浅間・ハツ岳パノラマトレイル
自然や歴史、文化、伝説などが楽しめる5つのコースがあります。(2022年3月現在)

安藤百福センターホームページ
日本ロングトレイル協会ホームページ



メンバーおすすめの本

紹介人 井出 明子



『花めぐり 信州の名所230』
信濃毎日新聞社出版部 編
(信濃毎日新聞社)

花を見ることが好きになったのはいつの頃からだったろう。気が付けば両親や家族と花を見に出かけていた。子どもの頃はさして興味もなく、ただ出かけた先でたくさん歩かされることへの疲労感が大きかったが、いつの頃からか楽しみになり、実家に向かう時、あるいは両親が我が家に遊びに来る時には、その時期に見頃な花を調べてよく見に行った。特に母と花を見るのが楽しかった。懐古園の桜はもちろんの事、高山村の一本桜、飯山の菜の花公園、高源院の紫陽花、南信に住んでいた時には、阿島の大藤、伊那梅園、高遠の桜など、本書をめくると母と見た花の数々、思い出が甦る。母と見た最後の花は、牟礼村袖之山の枝垂れ桜だった。足腰が達者だった母が、その頃は病気の為、歩行器でようやく移動ができる程に衰えてしまっていたが、見事な桜に笑顔が満開だった。

信州には花の見どころが実にたくさんある。花を眺めると心が安らぎ、気持ちが癒される。まだ見たことのない花の名所をいつか訪ねてみたいものだ。